

## 功 績 概 要

### 学 校 教 育 功 勞

小宮 健(こみや けん)(三重県立四日市工業高等学校教諭)

昭和 59 年 4 月から永年にわたり、県立高等学校の工業学科の教諭として本県の工業教育の発展に貢献してきた。

特に、自動車整備を中心とするものづくり分野の指導を熱心に行い、これまでに指導した生徒のうち、平成 15 年度から取り組んだ高校生ものづくりコンテスト全国大会の自動車整備部門において 10 人が優勝(国土交通大臣賞)、若年者ものづくり競技大会の自動車整備部門において 4 人が優勝(厚生労働大臣賞)に選出された。

高校生ものづくりコンテストについて、ノウハウがなかった学校現場に、教諭自ら県内自動車整備事業者に研修を依頼し、測定、点検、故障箇所の判定、修理といった知識・技術を生徒と共に学び、教えることで、多くの生徒に自動車整備の魅力を伝え、自動車整備士などの地域のものづくり産業の中核を担う人材の育成に大きく貢献した。

自動車整備に係る課外活動においても、永きにわたり顧問を務め、生徒が自動車整備の基礎となるエンジンや、ハイブリッド車などの先端技術の習得を通して、自動車技術発展に必要となる創造力を育むとともに、上級生から下級生への技術伝承や協働性育成など、ものづくりを通じた教育活動に献身的に取り組んだ。

### 社 会 教 育 功 勞

山口 恵照(やまぐち けいしょう)(三重県社会教育委員連絡協議会会長)

平成 15 年 4 月から現在に至るまで大台町社会教育委員として、町の社会教育の振興に尽力するとともに、三重県社会教育委員連絡協議会において、平成 23 年 6 月から副会長を、平成 27 年 6 月から現在に至るまで会長を務め、社会教育委員の活動の活性化に貢献している。この間、積極的に全国の先進事例から学び、学んだことをもとに創意工夫ある事業改善を行い、会の発展に寄与した。

他市町社会教育委員等との勉強会に積極的に参加し、本県の社会教育の振興に資する調査研究を行うとともに、三重県教育委員会が主催する「コーディネーター養成講座」への参加を積極的に働きかけるなど、社会教育委員の資質向上に尽力している。

平成 24 年度、25 年度は、第 55 回全国社会教育研究大会三重大会実行委員会副委員長として、同大会の開催に尽力した。令和元年度は、第 50 回東海北陸社会教育研究大会三重大会実行委員会委員長として、大会の企画、運営の中心となり、県内の社会教育委員の積極的な参画・参加の機運を盛り上げ、大会を成功に導いた。

令和元年度から令和2年度は、全国社会教育委員連合の理事を務め、同連合からの信頼も厚い。

平成15年から始まった大台町放課後子ども教室「リフレッシュ大台学園」の事務局長を務め、平成19年から事務局長兼コーディネーターとして、永きにわたり、子どもたちの放課後の居場所づくりと豊かな体験活動の推進に尽力している。

## 学 校 保 健 功 労

宮田 保（みやた たもつ）（学校歯科医）

昭和62年4月から平成23年3月まで桑名市立多度西小学校、昭和62年4月から平成28年3月まで桑名市立多度中小学校、昭和62年4月から現在に至るまで桑名市立多度北小学校の学校歯科医として、永きにわたり学校における歯科保健活動に従事し、8020達成を目指した生涯歯科保健に最も重要となる時期の児童に対する指導に尽力している。

口腔衛生普及活動として、よい歯の児童生徒審査表彰、親と子のよい歯のコンクール、図画・ポスターコンクールを行い、歯科衛生に対する認識を深めることに尽力するとともに、毎年開催している歯科保健教室において、地域の歯科衛生の知識の向上に貢献した。

さらに、桑員歯科医師会独自の事業として歯科衛生作文、標語を募集し、図画・ポスター等の入選作品を冊子として関係者に配布するなど、啓発効果を上げた。

平成6年度から平成11年度まで社団法人桑員歯科医師会会長として、地区学校歯科医に対して指導力を発揮するとともに、平成8年から桑名市の事業である来院型幼児健診、母親を対象とした歯科保健教室・在宅訪問診療に協力し、地域の歯科医療の確保に貢献している。

また、妊婦及び生まれてくる子の歯と口の健康を保持増進するために、妊婦対象の歯科検診、マタニティセミナーを開催し、家庭や地域の歯科保健衛生の向上と普及に尽力した。